

たんぽぽ だより

スマホ版ホームページ
QRコード



第132号 令和7年7月発行

赤碕福祉社会基本理念

報恩感謝 奉仕の精神

基本方針

- ・利用者の基本的人権を尊重し、個別ケアの充実に努めます
- ・福祉サービスの質の向上に努め、自主した生活を支援します
- ・利用者が地域社会の一員として明るく楽しく生活できるよう支援するとともに、地域福祉の向上に努めます
- ・利用者のプライバシーを保護します
- ・豊かな人間性と高い専門性を備えた人材の育成を目指します
- ・経営の安定と透明性を図り、利用者がいつまでも安心して利用できる施設づくりに努めます



ミャンマーより特定技能外個人として入職された3人

令和7年度 法人スローガン
「新たな挑戦
心をひとつに！」

外国人採用という新しいことにチャレンジし、巳年にちなみ百寿苑が生まれ変わる年になることの思いを込めています。

3グループホームで認知症カフェ開催

グループホームが認知症ケアの相談の場となれるよう、そのきっかけとすべく認知症カフェを開催しています。グループホームきらりでは「きらりカフェ」を5月20日に、グループホームはなみは「はなみカフェ」を6月18日に、グループホームあかさきは「あかさき食堂」を6月28日に開催、利用者家族をはじめ近隣の皆様にも参加をいただきました。認知症について悩み等がある方はお気軽にご相談ください。



はなみカフェを楽しむ参加者



認知症の絵本の読み聞かせも



きらりではマジックも楽しむ

赤中生徒「ワクワク赤碕」で職業体験（特養・デイサービス・グループホーム）



6月10日から12日までの三日間、赤碕中学校の職場体験事業「ワクワク赤碕」で3人の生徒さんが特養・百寿苑デイサービス・グループホームあかさきの事業所を訪問し、職業（介護）体験等を行いました。3人はそれぞれ3事業所を1日ずつ交替で廻り、3人にとって将来を考える貴重な職場体験となりました。

春の職員清掃ボランティア

～百寿苑周辺水路・歩道清掃～

毎年春と秋に職員による清掃ボランティアを実施しています。今年は6月1日（日）午前8時30分から約2時間、トレセンとグループホームあかさき、百寿苑、グループホームはなみとの間の水路とトレセンから国道9号線までの歩道の清掃を行いました。



新任職員紹介



百寿苑デイサービス介護士 佐伯みずき
「毎日笑顔を保ち、がんばります。よろしくお願いします」

心より感謝申し上げます

※4月中旬～7月上旬にいただいた寄贈、ボランティアの方を掲載しております。

寄贈 ボランティア様

秋田農園様…野菜苗



介護予防教室

ボランティア2名

特養

ボランティア1名

百寿苑デイサービス

結城会（踊り）7名



日赤奉仕団

令和6年度を振り返って

施設長 入江 祐子

令和6年度は介護報酬と医療報酬、障害者福祉サービスの報酬のトリプル改定の年となり、介護報酬改定においては全体として1.59%のプラス改定となりました。しかしながら当法人では報酬減額改定の事業所もあるなど法人全体では経営が過去一番厳しい結果となりました。

地域の高齢者人口は、鳥取県においては2023年にピークアウトしているといわれ、コロナ禍以降要介護高齢者の状況に変化が見られています。特養・グループホームにおける入居待機者の数、通所介護・訪問介護・短期入所事業の在宅サービス利用者数の減少は、百寿苑がサービスエリアとする地域の高齢者人口の減少が要因ではないかと推測しています。

当法人の強みに包括的ケアの提供があります。介護予防事業＋在宅サービス＋入所サービスの連携を充実かつ継続させることが地域の高齢者福祉を提供する法人としての責務と捉え、訪問介護・通所介護・居宅介護支援事業の更なる発展に取り組みました。

令和6年度介護報酬改定において「介護サービスにおける生産性の向上」への取組が必須となりました。特養においては一部を改修し、特浴（ミスト浴）の機器を導入することにより入所者の入浴に関する導線を効率化し、入所者・職員への負担の軽減を図る取組や、インカムの導入により業務中の職員間連携をスムーズにする取組が成果を生んでいます。今後も介護人材不足が見込まれる中、介護現場の生産性は利用者の安心・安全を守る上でも重要になってくると言えます。令和7年度も引き続き取組を強化していきます。

令和6年度 決 算 報 告			
事業活動計算書	令和6年4月1日～令和7年3月31日		(単位千円)
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
サービス活動費用	684,578	サービス活動収益	687,566
サービス活動外費用	983	サービス活動外収益	2,487
特別費用	572	特別収益	5,189
費用合計	686,133		
当期活動増減差額	9,109		
合 計	695,242	合 計	695,242

貸借対照表	令和7年3月31日現在		(単位千円)
資産の部		負債の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
現金・預金	529,861	流動負債	36,136
その他の流動資産	100,315	固定負債	4,469
流動資産合計	630,176	負債合計	40,605
		純資産の部	
基本財産	560,921	基本金	105,790
その他の固定資産	635,245	国庫補助金等特別積立金	86,883
		その他の積立金	291,000
		次期繰越活動収支差額	1,302,064
		(内、当期活動収支差額)	(9,109)
固定資産合計	1,196,166	純資産合計	1,785,737
資産合計	1,826,342	負債及び純資産の部合計	1,826,342

ご意見ありがとうございます

～ご指摘及びご要望とその対応について～

令和7年度第1回苦情解決事業報告会開催

- ・日時 令和7年4月16日（水）
- ・報告件数 下記のとおり

事業	申出人	内容	対応
特養	入所者 家族	電話をかけられる際に、留守電になった場合には、用件と、緊急かどうかを残してもらいたい。緊急かどうか区別がつかないと困る。	○留守番電話に伝言を残す場合の文言や緊急時以外のご家族への連絡時間を統一しました。また、緊急連絡先や電話に出ることができない時間帯等ご家族個々の状況を多職種間で確認しました。これらを朝のミーティング、部署会で職員に周知しました。
グループホーム きらり	入居者 家族	緊急かどうかの判断、排便管理等相談がある時には、しっかりと職員と落ち着いて話をしたいので、家族の都合も考えて話をしてほしい。家族の気持ちを言えるように、配慮してほしい。	○相談については、ご家族に来所していただき、ゆっくり説明し、即決を求めないこととしました。また、健康管理については主治医に相談する等多職種間での相談、連携に努めることとしています。
不明	町民の方	百寿苑と書かれた車両が、一時停止が必要な場所で、しっかりと停まっていない。また、狭い道路でスピードを出して走り危険である。	○全体朝礼、また係長以上の会にて内容の周知を行い、安全運転への注意喚起を行いました。 ○年に4回の交通安全強化期間を利用して、法人の安全運転管理者は職員に注意喚起を行っています。
配食サービス	利用者 家族	味付けにムラがあるので改善してほしい。	○調理指示書の内容をしっかりと確認したうえで調理にあたります。 ○味付けの確認は調理員2名以上で行います。 ○調味料の分量に変更が必要な場合、調理指示書を変更していきます。

苦情解決責任者： 施設長 入江祐子 苦情受付担当者： 次長 奥田恵
中立の第三者委員： 岡村俊作 吉田忠男 秦野俊子

赤碕小児童と交流 ～出前授業で四年生と二日間～

5月28日は赤碕小学校に百寿苑職員が訪問、6月18日には百寿苑に児童が訪問し、介護体験など福祉に関する授業を通し、児童と高齢者、職員が交流を深めました。小学校での出前授業では、百寿苑の職員の寸劇で苑内の様子が紹介され、百寿苑では利用者とうちわ作りに挑戦しました。



赤碕小学校で出前授業



利用者と手芸品作りで交流